

令和4年度 第2回 橋本市生活交通ネットワーク協議会 議事録

1. 開催日時

令和4年10月26日(水) 午後1:30~2:30

2. 開催場所

橋本市東家一丁目6番27号 橋本市民会館 1階ギャラリー

3. 出席者(24名)

会 長

辻本 勝久 (和歌山大学経済学部 教授)

副会長

渋田 年男 (橋本市身体障害者連盟 顧問)

委 員

堀川 憲一 (橋本市老人クラブ連合会 会長)

乾 幸八 (橋本市区長連合会 会長)

廣岡 慶三 (橋本市区長連合会 理事)

松田 良夫 (橋本市社会福祉協議会 会長)

小林 弘 (橋本市議会 議長)

岡本 安弘 (橋本市議会 総務委員長)

鈴木 健 (国土交通省近畿運輸局和歌山運輸支局 首席運輸企画専門官) 【代理出席】

一ノ瀬 健 (国土交通省近畿運輸局和歌山運輸支局 首席運輸企画専門官)

大森 幸宏 (南海りんかんバス(株) 取締役社長)

川村 昌彦 (有鉄観光タクシー(株) 取締役社長) 【代理出席】

木村 泰雄 (南海りんかんバス(株) 従業員代表)

藤本 昇三 (橋本市民病院事務局総務課 課長)

梅本 英雄 (国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所 道路管理第一課長)

西前 克彦 (橋本市建設部 部長)

保田 彰 (橋本警察署 署長) 【代理出席】

櫻田 徹 (かつらぎ警察署 署長) 【代理出席】

狭間 裕司 (和歌山県企画部地域振興局総合交通政策課 課長) 【代理出席】

小原 秀紀 (橋本市 副市長)

土井 加奈子 (橋本市総合政策部 部長)

久保 雅裕 (橋本市健康福祉部 部長)

北岡 慶久 (橋本市経済推進部 部長)

森下 清司 (公益社団法人和歌山県バス協会 専務理事)

欠席委員

矢野 佳世子 (橋本市女性会議 会長)

寺本 伸行 (橋本商工会議所 会頭)

米田 恵一 (高野口町商工会 会長)

下村 敏文 (西日本旅客鉄道(株) 橋本駅長)

辻本 淳二 (南海電気鉄道(株) 橋本駅長)

平岡 明義	(大阪第一交通(株)橋本営業所 所長)
土山 真敏	(橋本タクシー(株) 代表取締役)
船戸 直哉	(和歌山県伊都振興局建設部 部長)
川村 昌彦	(一般社団法人和歌山県タクシー協会 会長)
西村 芳通	(一般社団法人和歌山県ハイヤー・タクシー協会)

事務局（４名）

中岡 勝則	(橋本市総合政策部政策企画課 課長)
前川 朋久	(橋本市総合政策部政策企画課 課長補佐兼地域振興係長)
嶋本 英明	(橋本市総合政策部政策企画課 主任)
上原 慎太郎	(橋本市総合政策部政策企画課 主査)
乾 沙也香	(橋本市総合政策部政策企画課 副主査)

4. 司会進行

事務局が司会進行を行った。

5. 会長あいさつ

辻本会長が開会あいさつを行った。

6. 会議資料

別紙 1	令和 4 年度第 1 回橋本市生活交通ネットワーク協議会 次第
別添資料 1	令和 5 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域公共交通計画 又は生活確保維持改善計画の認定について
別添資料 2	株式会社システムエグゼとの実証実験について
別添資料 3	橋本市地域公共交通計画（案）
別添資料 4	橋本市コミュニティバス・デマンド交通路線図案
別添資料 5	コミュニティバス等停留所一覧（令和 5 年 4 月～）
別添資料 6	コミュニティバス等ダイヤ一覧（令和 5 年 4 月～）

7. 議事項目

協議会規定に基づき、会長が議長となる。

(1) 橋本市生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）の認定について

【事務局】 前回の協議会の際に承認いただいた橋本市生活交通確保維持改善計画が国から認定を受けたので報告する。これによりコミュニティバス東西幹線、西部線、東部線と南海りんかんバス紀見橋本病院線について 1 年間の補助を受けられることとなった。なお、来年 4 月にコミュニティバス等の一部ルート見直しを予定しているため、変更申請等については遅滞なく進めていく。

⇒意見なし

(2) ICT 技術を活用した乗降データの取得に関する実証実験について

【事務局】 本市では持続可能性と利便性を兼ね備えた地域公共交通のあり方についてさまざまな主体と協働しながら事業を進めてきたが、この度ソフトウェア開発・販売を手掛ける株式会社システムエグゼと連携協定を結び、乗降データの取得に関する実証実験を行うこととなった。10/20 に本市市長とシステムエグゼ代表取締役社長の大場氏、他関係者が集まり連携協定の調印式を行ったところ。来年 2 月に予定している実証実験ではコミバス利用者に Q R コードのついたカードを配布し、乗降時に読み取ることで O D データを取得するシステムを 1 か月間導入する。本市のコミバスの需要や課題について明らかにしたい。また、協力いただいた方にはポイントをお渡しし、景品と交換できるようにする予定。なお、実験にかかる費用は全て先方の負担であり、本市及び南海りんかんバスの費用負担はないことを申し添える。

⇒意見なし

(3) 橋本市地域公共交通計画（案）について

【事務局】 前回の協議会の際にもご説明したが、この案についてはワーキングチームの皆さんの意見も仰ぎながら作成した。この案に基づき、2 月の申請に向けて議論を重ねていきたい。それぞれの団体にお持ち帰りいただき、12 月の書面議決の際か随時、事務局に意見を寄せてほしい。特に意見が欲しいのは 35 ページ以降の「取り組み内容」。また、11～12 月をめどにパブリックコメントを実施する予定なので、周知にご協力いただきたい。

⇒意見なし

(4) 橋本市地域公共交通網の見直しについて

【事務局】 まず、南海りんかんバスの隅田方面 3 路線の休廃止について改めて意見や質問はないか。なければ承認したということで、協議会名で書面を発行する。

⇒意見なし・承認

【事務局】 来年 4 月以降の運行ルート・ダイヤ案は資料のとおり。今回承認いただければ、運輸支局への申請や実務を進めていく。

【森下委員】（県バス協会）新旧対照表があればもっと分かりやすい。次回から準備してほしい。

【乾委員】（橋本市区長連合会）市民への周知として、広報のみでは不十分では。

【事務局】 今後、区長理事会にてご説明させていただく。また、要望があれば地域へ出向き、説明を行う。

【会 長】 今回は大がかりな変更もあるため、住民に理解してもらえよう周知を徹底してほしい。

⇒見直し内容については異議なし、承認

(5) その他

【事務局】 事務局から 2 点お知らせする。来月 13 日、県立橋本体育館にて開催される「すこやか橋本 まなびの日」において、政策企画課と南海りんかんバスの連名でコミバスの展示を行うこととなった。まなびの日は教育委員会が主体となり、教育・健康・人権等に関わる活動を行うサークル等が多数ブースを出展し、子どもから高齢者まで多くの方が集まるイ

ベント。そこでバスを展示し、車内を見学したり、一緒に撮影したりするなど、以前からワーキングチーム会議等で意見をいただいていたように、来場者にコミバスを身近に感じてもらえる場としたい。11/13（日）9:30～13:30、入場無料でフリーイン・フリーアウトなので、もし時間があれば様子を見に来て欲しい。

もう1点は、ペーパーレス化について。現在本協議会に関する案内等は全て紙に印刷し郵送しているが、これをメールでの送付に代えさせていただきたい。もちろんメールでの対応が難しい委員に対しては、今まで通り郵送する。アンケートを机の上に置いているので、回答してほしい。

8. 副会長あいさつ

渋谷副会長が閉会あいさつを行った。